

平成26年度 各務原市社会福祉協議会 事業報告

介護保険法改正など暮らしに直結する社会保障制度改革が進む一方で、生活困窮世帯の増加、虐待、孤立問題など地域における生活課題は複雑にからみあい深刻化しています。

このような状況のもと、「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」を目指す姿とする17地区の行動計画も加えた第3期地域福祉活動計画を住民や関係機関とともに策定することができました。また、あらゆる生活課題を受けとめ、その解決に向けた取り組みを進めるために、総合相談窓口を一元化した生活相談センターさぽーとでは「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を受託し、専門的かつ継続的な支援で解決への道筋がつけられるよう努めました。

重点目標

1 住民が主体となる地域の支えあい活動や生活支援の充実

27年度から5か年の第3期地域福祉活動計画を策定しました。また、2支部社協の地域交流拠点を「夢を実現プロジェクト事業」で継続支援するとともに、17支部社協においても住民が主体となる地域福祉活動を積極的に展開することができました。近隣ケアグループ数も増加し、ご近所さんならではの見守り活動も進められました。

ボランティアセンター事業においては、個別の課題を地域で解決できるよう傾聴などの個人ニーズにも対応した調整を行うことができました。

「生活相談センターさぽーと」では、「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を受託するなど、社会福祉協議会が培ってきた地域密着力を生かし、個別課題に丁寧に寄り添う相談支援に努めました。

2 社協が担うべき社会福祉事業への積極的な参画と展開

居宅介護支援（ケアプラン作成）、訪問介護（ホームヘルパー派遣）、訪問入浴サービス、老人デイサービスの介護保険事業については、個々の状態に応じた適切なサービスを提供することができました。また、障がい分野でも障害者デイサービスや障害者特定相談支援事業所へも新規参入するなど事業拡大を図りました。

また、地域包括支援センターや高齢者生きがいセンター川島園ではいくつになっても健康で暮らし続けられるよう介護予防を意識した取り組みを行いました。

3 社協の役割を踏まえた体制整備と情報発信力の強化

社協だよりの読者参加型企画の新設やフェイスブックなどを活用した双方向の情報交換を図るとともに、ちょっとしたしあわせを市民から投稿してもらう「わたしのお福わけ事業」の新規スタートなど世代を超えた情報発信力の強化に努めました。

福祉フェスティバルにおいても支部社協コーナーを設けて身近な地域福祉活動を知っていただく取り組みを行いました。

特に今年度より、会費を一口制度に見直し住民にわかりやすい会員募集に努め加入促進を図りました。

実施目標 1 地域福祉の推進主体としての方向性の周知

1 第3期地域福祉活動計画策定

「ささえて ささえられて みんなが主役のまちづくり」を目指す姿とする平成27年から平成31年までの5か年の地域福祉活動計画「いきいきプラン かかみがはら」を策定しました。特に、第3期計画には17地区ごとの行動計画も加え、地域の目指す姿も明記しました。

策定委員会を開催（年3回 8月5日、12月17日、2月27日）

実施目標 2 地域力による住民主体の支えあい活動を促進

1 17支部社協活動の充実

(1) 企画提案型一夢を実現プロジェクト事業の継続支援

緑苑連合支部 ふれあいハウス「ふらっと」運営
八木山連合支部 ささえあいの家 運営

(2) 支部交付金の活用と見直し

支部交付金を40%に増額し、独自の地域福祉活動に活用いただきました。

- ・支部交付金 7,485,000円
- ・メニュー事業助成金 13,099,483円（歳末援護費含）
- ・夢が実現プロジェクト事業助成金 2,000,000円

(3) メニュー事業助成の活用

メニュー名 支部名	近隣フカクル上研修	ボランタリーハウス	福祉協議会	支部ネット豊	機関紙の発行	配管サービス	料理・交流事業	福祉のふくむ育成事業	地域子育て支援・交流	高齢者ふれあいの交流	歳末たすけあいの特別事業
那加一		5	1		1		1	3		1	1
那加二東部	1	7	1		1			1	1	1	1
雄飛地区	1	2	1		2			1	2	1	1
那加三	2	7		1	2					1	1
尾崎		1	12		3			1	3	1	1
稲羽西	1	4	1	1	2		1	2	1		1
稲羽東	1	1	1	1	1				1	1	1
川島	1	3			1	1		1	2		1
鶴沼第一	1	5	1	2	2			1	1	1	1

鵜沼第二	1	6	1	1	2			1	1	1	1
陵南	1	3	1	1	2			1	1	1	1
鵜沼第三		3	1		2	9		1	1		1
緑苑	1	4	1		2		2	2	2	1	1
各務	2	5	12	1	2			2	2		1
八木山	2	2	2	9	4		8	4	2	1	1
蘇原北部	1	13	1		2			1	2	1	1
蘇原南部	1	11	1	1	2				1	1	1
合計	17	82	38	18	33	10	12	22	23	13	17

(4) ボランティアハウス事業の立ち上げ支援と啓発

地域で暮らす高齢者や子育て中の親子、障がいのある人たちが閉じこもりにならないよう気軽に集まることのできるボランティアハウス事業をすすめ、立ち上げの相談、調整等の支援に努めました。また、開設から10年を経過したハウスへの備品更新助成をするなど継続的な支援を行いました。

A型（毎週型）	B型（毎月型）	C型（民家開放常設型）	D型（立ち上げ支援型）
5	77	0	0

（開設数 82か所・うち 新規7カ所）

・ボランティアハウス活動のPR

クリアファイルを作成、地域住民に配布しボランティアハウスへの参加者を広く募りました。

(5) ボランティアハウスバスツアー事業

・いきいきバスツアー助成 31ハウス 2,102,200円

(6) 支部社協の強化整備

これまでの支部社協のつながりを活かし、生活課題を受けとめ地域で解決する仕組みづくりを進めるために地区社協へ名称変更することへの理解を促しました。

2 連携強化事業

(1) 自治会連合会長・支部長合同会議の開催<7月17日>

(2) 支部長・福祉推進員合同会議の開催<4月24日、1月23日>

(3) 支部長他市社協研修

<6月18日 岐阜県高山市社会福祉協議会を視察 >

①常設型拠点[寄って館]、②地区福祉活動計画などについて学ぶ

・岐阜県社会福祉大会への参加

<10月29日 支部より28名参加 長良川国際会議場>

3 近隣ケアグループ事業

(1) 近隣ケアグループ研修会

演題：「見張りにならない見守り活動のすすめ方」

講師：酒井 保 さん（ご近所福祉クリエイター）

<6月1日全体研修会 約1,000名参加>

(2) 活動費助成と活動支援

近隣ケアグループ活動支援では、活動費の助成を継続しながら全体研修会や支部社協を単位とした研修会の開催など声かけと見守り体制の仕組みづくりを推進しました。

・近隣ケアグループ登録数 300グループ 活動員数 2,147人

(3) 活動の手引きの作成及び配布

近隣ケアグループ活動の手引きを作成し、グループ員のほか自治会長、民生委員児童委員や市民にも配布し理解促進と啓発を図りました。

今年度より、FAX相談シートと訪問時不在票を添付しました。

4 生活介護支援サポーター事業

(1) 支えあいサポーター塾

認知症と地域をテーマに、認知症疾患医療センターや市内でも活発な事業を展開している緑苑連合支部 安村支部長より講演いただくとともに、グループワークをとおして参加者同士が交流することができました。

また、ボランティアハウス実習などをとおして身近なボランティアハウスの担い手へと育てていくことも目的としました。

11月7日、11月22日、12月11日、

及びボランティアハウス実習（11月～1月）

<延べ20時間 30名修了>

実施目標 3 市民活動への参加促進と福祉教育の啓発

1 ボランティアセンター事業

(1) ボランティア養成講座の開催

講座名	期 間	受講者	修了者
手話率仕員養成講座・入門編	8月21日～12月18日 毎週木曜日18回	23名	16名
手話率仕員養成講座・基礎編	7月11日～12月19日 毎週金曜日23回	16名	13名
点訳ボランティア養成講座	4月21日～9月8日 毎週月曜日18回	6名	5名
音訳ボランティア養成講座	5月13日～7月29日 毎週火曜日12回	10名	10名
要約筆記体験講座	6月19日,6月26日,7月3日,7月12日 木曜日 計4回 6月21日,6月28日,7月5日,7月12日 毎週土曜日,木曜日 計4回	7名 3名	— —

(2) 発達障がいを理解する研修会の開催

社会的認知が遅れている「発達障がい」について、映画上映・勉強会・当事者の講演会を開催し、職場や学校等などの地域社会において上手なつきあい方・対応方法を考えました。

①11月9・16日 映画上映会『ぼくはうみがみたくなりました』

121名参加 中央図書館多目的ホール

②12月14日 研修会 108名参加 総合福祉会館 集会室

講師：平野 華織 さん（中部学院大学准教授）

演題：「発達障がいへの理解と対応」

③1月31日 講演会 175名参加 産業文化センターあすかホール

講師：笹森 理絵 さん

演題：「発達障がいのある人の日常生活のお話」

(3) 個人・団体登録促進と活動支援

視覚障がい者や子育てなどを支援するボランティア団体に対し、活動費を助成しました。

・ボランティア活動に関する相談、登録等

団体登録 81団体 1,895名

個人登録 73名

ボランティア情報配信登録 51名

・ボランティア活動保険の加入

ボランティア中の事故やけがに備えるための保険に加入し、事故等の対応を行いました。

・災害ボランティアセンター運営

各務原市防災訓練に参加し、災害時の職員の動きについて確認しました。また、各務原市ひとつづくり講座では、災害ボランティアセンターについて講義を行い、地域住民の理解を深めるよう努めました。

(4) 収集ボランティアサロンへの参加促進

古切手や使用済みテレホンカードなどを収集・整理する収集ボランティアサロンを開催しました。

<年間13回開催 延べ105名参加>

2 福祉教育事業

(1) 福祉推進校・福祉推進企業の指定

次代を担う子供たちが、さまざまな体験活動をとおして福祉への関心をもち、理解を深めることができるように福祉推進校に指定するとともに、学校からの要請に応え福祉体験講座の講師やボランティアを派遣しました。

・福祉推進校の指定

小学校17校・中学校8校・高校3校・各務原養護学校 計29校

今年度からより重点的に福祉教育を取り組む意向のある学校に対して特別助

成枠（年間30万円を上限）を設けました。

・福祉推進企業助成

平成26年度の新たな取り組みとして賛助会員企業への福祉推進企業助成を設けるなどPR活動を行いました。

(2) 新入学児童お祝い事業

オリジナルトートバッグを作成し、小学校新1年生約1,600名に配布しました。

3 共同募金配分事業

(1) 歳末たすけあい配分事業 (配分実績の内訳)

配分先	対象者数	配分金額
障がい者通所施設	28施設 841名	744,554円
支部社協活動(歳末たすけあい特別事業)	17支部 2,955名	1,684,198円
合計	3,796名	2,428,752円

(2) 共同募金支会の運営

共同募金運動(赤い羽根募金・歳末たすけあい募金)の展開及びPR

年度	赤い羽根募金	歳末たすけあい募金	募金額合計	歳末たすけあい配分実績
26	17,967,667円	2,428,752円	20,396,419円	2,428,752円

実施目標 4 社協の強みを生かした生活支援・相談機能の充実

1 生活相談センターさぼーとの運営

(1) 総合相談窓口の開設

市民一人ひとりの暮らしと権利を守るために生活相談センターさぼーとを開設し、さまざまな悩みや困りごとの相談に対応するなど解決に努めました。

- ・相談件数 1,690件
- ・実相談者数 456名

・総合相談窓口生活相談センターさぼーとのパンフレット作成

生活の困りごとの相談に包括的に対応する機関である生活相談センターさぼーとの機能と役割を紹介したパンフレットを作成し、関係機関・公共施設等に配布し、周知しました。

(2) 拠点を活用した地域出張相談

身近な場所で相談が受けられるように支部の地域福祉活動拠点である「ふらっと」(緑苑支部社協)及び「ささえあいの家」(八木山連合支部社協)において毎月1回出張相談を行いました。

また、稲羽西支部社協では2月20日に大佐野町公民館にて出張相談を行いました。

・相談件数 延べ18件

(3) 権利擁護を学ぶ講演会

認知症になっても心身に障がいをもって、権利が守られ安心した生活が営める地域づくりをめざして、くらしを守る権利擁護セミナーと題して講演会を開催しました。

講師：湯原 悦子さん（日本福祉大学准教授：権利擁護研究センター長）

演題：「在宅介護の現場から見えるもの～介護者家族を孤立させないために～」

<10月21日 約450名参加>

(4) 相談員及び支援員の育成

・成年後見支援員養成講座の開催

平成27年度から実施する法人後見事業の実務者として活動する後見支援員の養成を行いました。

修了者数 20名

(5) 法人後見に向けての委員会等立ち上げ

顧問弁護士と契約を結ぶなど専門機関との連携を図り、法人後見開始に向けての準備を整えました。

(6) 日常生活自立支援事業

岐阜地区福祉サービス利用支援センター

判断能力が低下し日常生活に不安のある人が、住み慣れた地域で安心した生活ができるように、「福祉サービス利用にかかる援助」「日常的金銭管理」「書類等預かり」のサービスを契約に基づき行いました。

基幹的社協として各務原市・羽島市・笠松町・岐南町（2市2町）を管轄

・生活支援員15名

・継続契約件数48件（各務原市32件 笠松町1件 岐南町6件 羽島市9件）

・26年度新規契約件数18件

（各務原市13件、岐南町2件、笠松町1件、羽島市2件）

・生活支援員研修会の開催 <3月2日 14名参加>

(7) 日常生活自立支援事業制度の普及啓発

タオルの作成

居宅介護支援事業所、管轄内の社協、地域包括支援センターや施設、病院等に配布しPRに活用しました。

(8) 生活困窮者自立促進モデル事業の受託

平成27年度から本施行となる「生活困窮者自立支援事業のモデル事業」を受託し生

活困窮者の社会生活の自立支援と地域づくりを目指した相談支援を行いました。

- ・相談件数 1,690件(再掲)
- ・実相談者数 456名(再掲)
- ・モデル事業をPRするチラシ及びポケットティッシュを作成、配布しました。
- ・法律に基づき支援計画を作成し、関係機関で協議する支援調整会議を6回開催しました。

(9) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯や離職者など経済的支援を必要とする世帯に自立を促し、安定した生活を営むため生活支援費や福祉資金などの資金を貸し付け、必要な助言・指導をしました。

- ・平成26年度新規貸付件数<69件>

資金の種類	新規貸付件数
総合支援資金	10件
緊急小口資金	44件
福祉費	15件

- ・貸付に関する相談 <延べ809件>

(10) 生活困窮者への緊急食料品提供

適切な福祉サービス利用へつなぐとともに、一時的措置として食糧を給付しました。

- ・実績 27件

(11) 高額療養費貸付事業

貸付件数 250件 貸付者数 56人

2 ファミリーサポートセンター事業

(1) 利用会員・サポート会員の登録促進

主に小学校3年生までの子どもを対象に、学校や保育施設までの送迎や一時預かりなど保護者にかわってサポート会員が行いました。

- ・登録者数 328名
(利用会員247名、サポート会66名、利用会員兼サポート会員15名)
- ・コーディネート実績 937件

(2) 新規お試し券の発行

新規登録者 44名 お試し券利用者 5名

(3) ファミリーサポート交流会の開催

岐阜県主催「サポーター研修会」に参加し、交流を図りました。

11月26日から12月5日の内5日間

参加人数 31名 (うち市民18名)

ファミサポ・サポート会員 5名 新規登録会員 4名

実施目標 5 社協独自の地域福祉サービス(制度外)の充実

1 福祉有償運送事業

新たに運転手を雇用し、利用者に対し安定した利用ができるよう努めました。

登録者数 48名 運行実績 726回

2 まごころサービス事業

介護保険では行うことができない制度外サービスとして提供しました。

・利用者数 <延べ239名>

外出支援	47名	通院支援	144名	薬とり	9名
大掃除	3名	買物	36名		

3 一人暮らし高齢者等交流事業

(1) お達者でクッキング事業

食生活改善協議会のボランティアの協力により一人暮らし高齢者や高齢者夫婦を対象に年2回開催しました。

<6月24日 11名参加、11月21日 11名参加>

4 当事者団体等への支援

(1) 障がい者サロンへの助成

障がい者サロン「みっばらクック」の継続的な活動を支援するために活動費の助成を行いました。

(2) 親子サロンへの助成

市内8ヶ所で開催されている親子サロンへ活動費を助成しました。

(3) 母子寡婦福祉会への助成

母子父子福祉事業への支援

・ひとり親家庭等児童中学卒業記念品贈呈事業 <142名>

・新入学児童お祝い会事業 <57名>

・母子寡婦福祉会員ふれあい旅行事業 <151名>

(4) 更正保護女性会への助成

(5) 車いす、松葉杖、レクリエーション用品等の貸出

- ・車いすや松葉づえの貸出

貸出件数 130件

- ・レクリエーション用品等の貸出

- ・コミュニケーション麻雀の購入・学習会

コミュニケーション麻雀の使用法について、ボランティアハウス代表者などに対し講師を招き学習会を開催しました。

コミュニケーション麻雀学習会 3月19日 参加者 31名

講師 松尾 やよい さん(コミュニケーション麻雀協会)

実施目標 6 地域福祉活動と連動した介護保険事業の実施

1 居宅介護支援事業

要介護認定の高齢者等が安心して在宅で生活できるよう、本人や家族と相談して適切な居宅介護サービス計画を作成しました。

(1) ケアプラン作成 1,874件

介護度	介護度別件数	介護度別比率	月平均件数
要介護1	467	24.9%	38.9
要介護2	802	42.8%	66.8
要介護3	278	14.8%	23.2
要介護4	234	12.5%	19.5
要介護5	93	5.0%	7.8
計	1,874	100.0%	156.2

(2) 介護認定調査の実施 351件

2 訪問介護事業

要介護高齢者や障がい児者の在宅生活を支援するホームヘルパーやガイドヘルパーの派遣を行いました。また、制度外サービスとして『まごころサービス』を展開しました。

- ・要介護認定者へのサービス提供実績

利用者数 <延べ870名>

月平均利用者数 <72.5名>

サービス形態別の実績

内 訳	回 数	延べ時間
身体介護	4,278	2,986
身体生活	2,443	3,045
生活援助	4,574	4,253
合 計	11,295	10,284

・要支援認定者へのサービス提供実績

利用者数 <延べ688名>

月平均利用者数 <57名>

内 訳	利用者数	利用頻度
予防Ⅰ	468	週1回程度
予防Ⅱ	194	週2回程度
予防Ⅲ	25	週2回を超えるもの
合 計	687	

・障がい児者へのサービス提供実績

利用者数 <延べ715名>

月平均利用者数 <59.5名>

内 訳	利用者数	利用回数
身体障がい	161	1,098
知的障がい	154	1,099
精神障がい	180	1,632
障がい児	34	393
同行援護	92	498
移動支援(障がい者)	65	257
移動支援(障がい児)	29	130

・高齢者生活援助活動員派遣事業のサービス提供実績

利用者数<延べ159名>

月平均利用者数<13名>

利用時間<延べ159時間>

3 訪問入浴サービス事業

自宅の浴槽を使っての入浴が困難な要介護高齢者や障がいのある人等を対象に特殊浴槽を用いた居宅での入浴サービスを提供しました。

・介護保険の訪問入浴実績

利用者数 <延べ128名>

利用回数 <延べ634回>

・障害者自立支援法による実績

利用者数 <延べ61名>

利用回数 <延べ403回>

4 老人デイサービス事業

須衛稲田にある各務原市福祉の里内のデイサービスセンターで、要介護認定者や障がいのある人等を対象に、健康チェック、入浴、食事、レクリエーションなどのサービスを提供しました。

・介護度別利用実績(併設通所型)

実施日数 <307日>

1日平均利用者数 <20.9名>

介護度	2~3時間	3~5時間	5~7時間	合 計
要介護1	4回	2回	1,466回	1,472回

要介護2	6回	1回	1,940回	1,947回
要介護3	8回	1回	1,379回	1,388回
要介護4	4回	3回	431回	438回
要介護5	0回	0回	188回	188回
合計	22回	7回	5,404回	5,433回

予防通所介護1	127回
予防通所介護2	870回
合計	997回

・秋祭の開催

日頃の感謝の意味を込めて、利用者のご家族を招待して秋祭を開催しました。地域の民生委員児童委員やケアマネジャーにもご参加いただき、琉球国祭り太鼓を見たり、家族・スタッフとミニ運動会を楽しみました。

<10月18日 97名参加>

5 地域包括支援センター

地域の高齢者が安心して暮らせるように、看護師・社会福祉士・主任ケアマネジャーが連携して介護予防や総合相談、権利擁護などの事業に取り組みました。

(1) 介護予防ケアマネジメント

- ・介護予防プランの作成件数 <3,003件>
- ・介護予防事業及び在宅介護支援事業

(1) 転倒骨折予防事業	17件
(2) アクティビティ・認知症予防介護教室	31件
(3) 住宅改修プラン作成	27件
(4) 食の自立支援事業アセスメント	34件
(5) 介護予防プラン作成(二次予防プラン)	46件
(6) 地域包括ネットワーク事業	6件
(7) 基本チェックリスト未回収者把握事業	74件

(2) 総合相談支援

- ・高齢者の実態把握 <115件(加算33件、加算対象外82件)>
- ・総合相談支援 <1,440件>

受付別内訳 (電話632件、来所253件、訪問517件、その他38件)
内容別件数(重複あり)

(1) 介護保険制度の利用	811件
(2) 福祉サービスの利用	320件
(3) インフォーマルサービスの利用	151件
(4) 医療・保健サービスの利用	129件

(5) 住宅改修に関する相談	166件
(6) 福祉用具に関する相談	207件
(7) 介護方法に関する相談	64件
(8) 虐待に関する相談	39件
(9) 権利擁護に関する相談	41件
(10) 健康体操や支援センターのPRなど	437件

- ・介護よろず出張相談所の開設 <6月11日、8月25日、11月26日>
ピアゴ各務原店とマックスバリュ各務原那加店にて、出張相談所を開設しました。

(3) 高齢者虐待防止及び権利擁護に関する取り組み

(4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援 <158件 重複あり>

(1) 個別事例への助言対応	81件
(2) サービス担当者会議出席及び開催	32件
(3) ケアマネジャー資質向上のための研修	5件
(4) 介護支援専門員に対する情報支援等	38件
(5) 主治医との連携	2件
(6) 地域ケア会議（生活圏域）	11件

- ・けあまねネットワーク <6月23日、10月20日、3月12日 3回>

(5) 地域におけるネットワーク活動

- ・高齢者包括ケア会議 <6月17日、2月18日 2回>
- ・地域包括支援センター連絡会<毎月第2水曜日 12回>
- ・ボランティアハウス、シニアクラブ、支部社協等との連携事業
認知症予防、転倒予防、口腔ケア等 <117回>
- ・包括支援センターだよりの発行<年2回発行 10月号、3月号>

(6) 認知症に対する取り組み

- 認知症の方を介護している家族の交流会 <11月5日 参加者14名>
講師： 村井 俊雄 さん（笑いヨガティーチャー）
講話：「介護の体験と笑いヨガ」

6 川島園介護予防事業

高齢者の閉じこもり予防と自立支援のため、川島松倉町にある高齢者生きがいセンター川島園介護予防事業を受託しました。

- ・開設日数 <141日>
- ・利用者数 <延べ 445人>

実施目標 7 障害者支援事業への積極的な参画

1 障害者特定相談支援事業所の指定

新たに障害者特定相談支援事業所の指定を受け、障がい児者のプラン作成と地域相談支援事業に取り組みました。(10月から)

- ・計画相談支援件数 26件 モニタリング 4件
- ・地域相談支援方法及び件数
 - 訪問 64件、 同行 11件、 来所 93件、
 - 電話(ファックス含む) 228件、 電子メール 10件
 - 個別支援会議開催 23件、 関係機関との調整 35件

実施目標 8 社協及び社協事業への市民参加とPR強化

1 情報発信事業

(1) 社協だよりやウェブサイトによる情報提供

- ・社協かかみがはらの発行
社会福祉協議会の事業や講座の案内、ボランティア募集など福祉の情報提供をおこないました。

〈年4回発行 5月15日号、7月15日号、10月15日号、2月1日号〉

- ・ウェブサイトをモバイル端末から見えるようリニューアルしたほか、事業の紹介やボランティア募集等をフェイスブックで随時紹介し、社協活動PR等の情報発信をおこないました。また、各種メディアに情報提供し、取材や記事掲載に努めました。
- ・社協ピンバッチ・ストラップ・クリアファイルの作成と配布
社協キャラクター「サポート君」をイメージしたピンバッチとストラップを販売、その他にクリアファイルを作成・配布し、社会福祉協議会活動のPRを行いました。

(2) わたしのお福わけ事業

各務原市にゆかりのある方から日常の暮らしで感じたことを「ちょっとしたしあわせ」を投稿していただき、広報紙などにしあわせをお福わけする形で掲載する情報発信を進める事業を開始しました。

- ・投稿数 81件

(3) 社協活動紹介DVDの作成

ボランティアの協力により社協活動をわかりやすく15分のDVDにまとめ、多くの人が集まるイベント等で上映し、社協が行う事業が身近な福祉活動であることを周知しました。

2 大会事業

(1) 福祉フェスティバル2015

各務原市福祉フェスティバル2015の運営協力・支援

＜9月7日 各務原市民会館一帯・中央ライフデザインセンター＞

(2) 第48回社会福祉大会の開催

＜11月19日 福祉関係者・市民約1,000人参加 各務原市民会館＞

第一部：式典 福祉関係功労者の表彰

第二部：講演 講師：花田 景子 さん

演題：「妻として 母として 女将として」

実施目標 9 社協会費の理解促進と会費制度の改正

1 社協会費事業

(1) 会費制度の見直し

分りやすくかつ複数口加入いただけるように世帯会員を一口制に変更し、加入促進を図りました。

世帯会員				賛助会員		合計
年度	会員数	加入率	会費額	法人・団体・個人会員		
				会員数	会費額	
26	36,905 世帯	80.2%	18,719,500円	803	法人 団体 (個) 3,418,000円	22,137,500円

(2) 会費使途説明資料の作成

よりわかりやすい資料の作成に努め、会費への理解促進を図りました。

(3) 寄付金

年度	件数	寄付金額
26	70件	4,669,658円

実施目標 10 理事会・評議員会の組織強化

1 法人組織整備

副会長2名を新たに選任し法人組織の強化を図るとともに、役員報酬の規程を見直しました。

理事会・評議員会の開催

<理事会 5月29日、10月7日、3月30日>

<評議員会 5月29日、10月7日、3月30日>

実施目標 11 法人運営組織の体制整備

1 事務局体制整備

(1) 新会計基準への移行

新会計基準に沿った適正な移行処理を行いました。

(2) 安全衛生委員会

職員の健康管理のため健康診断を実施するとともに安全衛生委員会を開催しました。

職員健康診断 6月16日

安全衛生委員会 毎月1回

産業医参加による健康指導 9月26日

2 職員資質向上事業

(1) 職員レベルアップ講座

市民サービスの拡充に努め、資質向上を図るため職員全体研修会を行いました。

・6月26日 参加人数 71人

第1部 演題 各務原市社会福祉協議会の沿革及び役割

講師 各務原市社会福祉協会事務局長

第2部 演題 「熱中症」について

講師 池田 哲 さん(株)大塚製薬工場 名古屋営業所)

・11月20日(木) 参加人数 97人

演題 メンタルヘルス講習会

講師 白井 健一 さん(株式会社LEIS治療院)